

上にのぼれば、江戸中南海残らずみゆ、

〔江戸内めぐり〕江戸名所いろは寄

い 守宮池 牛込毘沙門堂の庭に在 井の頭池 四谷中野の先也 壹本松 麻布に在 嫉妬

女の墓印を云、いさらご 芝田丁九丁目より南の方を云

ろ 六本木 かはらけ町より西の方

は 旗ヶ谷 千駄谷とさ、き村の間を云 班女塚 下谷池の端の榊原殿屋敷に在ト云

に 二本榎の木 しろかね原正覺院の側に在 新堀山 谷中の後に有道灌城跡と云、

ほ 法眼坂 二番町に在 堀かねの井 牛込村に在 星野山 永田丁山王權現の山也 菩

薩曼陀羅石 増上寺に在

へ 屏風坂 東叡山より下谷金杉へ下ル坂也 辨慶堀 かうじ町邊井伊殿屋敷前御堀ヲ云

と 道元坂 玄ぶやよりせたがやに行道ニ在 獨鈷瀧 目黒不動の山にあり 常盤橋 せ

たがや領の宿の入口に在、小みぞにかゝれる橋也、御城下常盤橋と不可混、

ち 千葉塚 はらば村總泉寺に在、千葉石 本所龜井戸天神の少過て在

を 落合の坂 今井村赤坂新丁などより往還の行合 小栗坂 鷹匠丁水道橋へ上る所の坂

也 狼谷 四ツや新町より先笹塚と云所也 面影橋 なるこ宿と中野村との間に在 お

とか淵 兩國橋と三またの間を云よし 大塚 駒込村の先塚の上に不動有

わ 別の淵 三股に在、爰潮水のわかれ也、

か 霞が關 櫻田松平安藝守殿、松平筑前守殿屋敷の間を云也、古歌に讀る霞ヶ關也、鏡が池

あさちが原也、梅若丸の母、我子のいくゑをあくがれ、此所迄尋來り、我子の死したる跡に庵をむすびるけるが、此池にのぞみて、我面かげのおとろへたるをみて、其儘この池に身をなげ、